

# 大浜てらまちウォーキング出店者・協賛募集

問 大浜にぎわいづくり実行委員会 ☎ 95-9894

## 大浜てらまちウォーキング

時 10月18日(日) 9時15分～15時 (予定) 所 名鉄碧南駅以西 大浜てらまち地区

### 出店者募集

#### ▼キッチンカー

1区画 幅3.6m×奥行5.4m

募集数 全24区画

¥ 北区画…15,000円、南区画…7,000円、  
碧南駅前通り…11,000円

#### ▼てらまちマーケット

1区画 幅2.5m×奥行2.5m

募集数 北区画：50区画、南区画：30区画、  
碧南駅前通り：30区画 (新設)

¥ 北区画…4,000円、南区画…2,500円、  
碧南駅前通り…2,500円



### 協賛募集

大浜てらまちウォーキングを一層盛り上げるために、皆さんから協賛を募集します。

#### ▼イベント冊子広告掲載の協賛

¥ 10,000円～30,000円

他 イベント冊子は片面A4サイズ。金額に応じて枠のサイズが異なります。

#### ▼プレミアム協賛

¥ 50,000円～上限なし

- ・イベント冊子に広告を掲載 (3万円枠) 金額順に上から掲載
- ・会場内に事業所PRブース設置 テント、イス、机は実行委員会で用意します。
- ・その他の特典も相談可



**【全共通】申** 6月1日(月)9時～19日(金)17時  
にホームページの専用フォーム

## 碧南の歴史へのいざない

問 藤井達吉現代美術館 ☎ 48-66602

### No.121 民俗資料から(1) 洋々医館の提灯と調剤用天秤

今回は、市が所蔵する民俗資料の中から、特に碧南市に関わりがある品々を取り上げます。なお、民俗資料とは、人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承のうち人々の生活の推移を示す有形のもの(物件)をいいます。

上段の品は照明具の提灯です。足元を照らすために持ち歩いたり、標識として備えつけたりしました。細い竹ひごの骨に紙を張り、折り畳めるようになっており、中にろうそくを立てて用います。また、正面から「洋々医館」と読むことができますように墨書きされています。

下段の品は調剤用天秤です。これは、天秤が収められている木箱の前面に墨書きされていることから分かります。併せて「洋々医館 調剤所」とも読むことができますが、洋々医館とは何なのでしょうか。



△提灯



△調剤用天秤とその収納箱

これは、明治五年(一八七二)頃現在の鷺林町に洋方医である近藤坦平が開設した診療所のことです(はじめ洋々堂)。まだまだ漢方医が優勢だった幕末に、坦平は長崎の精得館という近代的洋式病院・医学校で学びました。その経験をもとに、戻った郷里の鷺塚村に洋々医館と医学校の蜜蜂義塾を創設したのです(蜜蜂義塾は明治十五年まで)。

娘婿でドイツ留学から帰国した次繁や子の乾郎に院長が引き継がれた洋々医館は、大正時代の末から昭和にかけて隆盛し、地元はもちろんのこと、現在の豊田市や西尾市、知多半島の武豊、豊浜、篠島・日間賀島・佐久島など、遠方からの入院も多かったそうです。

洋々医館は惜しくも昭和五十五年(一九八〇)に閉館されましたが、今回紹介した民俗資料は往時の洋々医館をしのばせる品々です。